

■東京支部活動の報告

①平成30年度 主な活動計画について

- 10月20日:支部総会&懇親会 場所:損保会館 開場10時、開会10時30分
 10月27日:和歌山大学同窓会第30回総会&学生交流会(和大ホームカミングデー)In 和歌山大
 11月下旬:名草会 場所:高野山東京別院 <http://www.musubidaishi.jp/access/index.html>
 1月26日:人生塾「ヨット競技の魅力とパリオリンピック出場に向けて」(仮)

②東京支部総会&懇親会開催のご案内

今年も「楽しい」「役に立つ」「参加意識が持てる」企画を揃えています。支部総会は大学の状況を知る年に一度の機会であり、今年度は大学が今もつとも注力している「グリーンイノベーションプログラム」に関する講演を予定しています。皆さまお誘い合せの上、是非多数ご参加いただきますよう宜しくお願い申し上げます。

- 日時:平成30年10月20日(土)10:00受付開始、10:30～14:30
- 会場:損保会館2階大会議室 東京都千代田区神田淡路町2-9 (電話)03-3255-1299
- 会費:5千円(新卒者:大66期は無料、卒業後10年以内の若手:大57～65期および女性会員は4千円)
- 講演会:「食農総合研究所紹介～全学横断組織としての地域貢献(仮題)」
 講師:和歌山大学食農総合研究所副所長・専任教授 岸上光克 様
- 懇親会:大学30期幹事団開会宣言、来賓挨拶、乾杯、歓談 etc.

各種催し(和歌山あるあるクイズ大会(仮)、近況報告、学歌/寮歌斉唱 etc.)

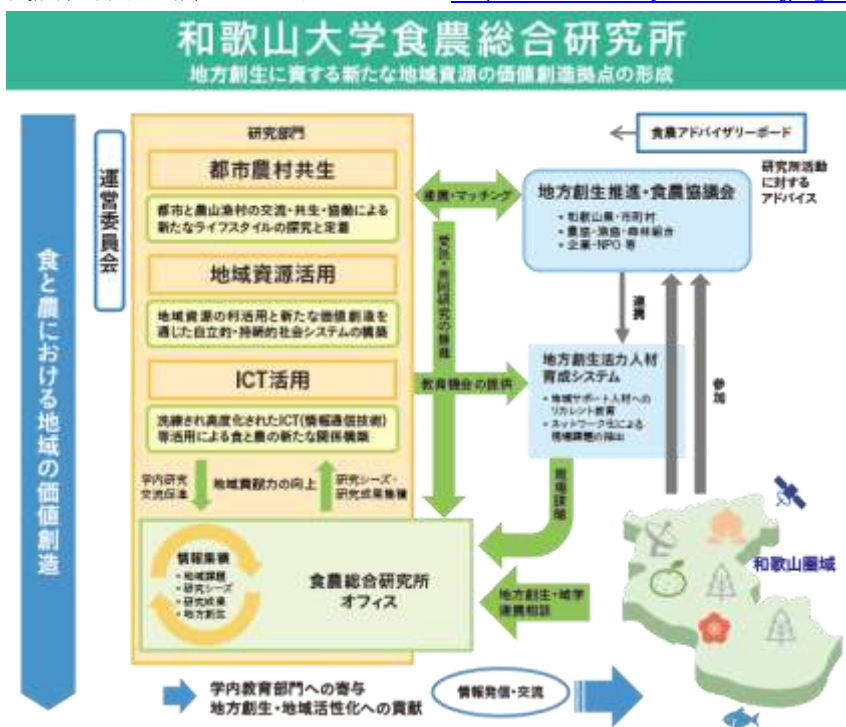
メールアドレスをお持ちの方は今後の連絡に活用させていただきたくメールでのご回答願います。

E-mail: tokyo@kourokai.com

■食農総合研究所について

食農総合研究所では、3つの研究ユニット(都市農村共生、地域資源活用、ICT活用)と食農部門の教育ユニットを設置しています。研究ユニットへの参加は毎年公募を行うとともに随時受付(登録申請)も行っています。様々な分野にまたがる「食と農」に関する研究活動を展開します。

食農総合研究所パンフレットはこちら http://www.wakayama-u.ac.jp/files/00156905/syounou_punf2018.pdf



和歌山大学関連

○【ご案内】平成30年度ホームカミングデーの開催について

今年も和歌山大学では、平成30年10月27日(土)に大学キャンパス内において、「第8回大学ホームカミングデー」を開催いたします。

前回同様、課外活動施設を開放いたしますので、OB・OGの皆さんと現役学生の交流の場としてご活用ください。

詳しくは、本学HPをご覧ください。 <http://www.wakayama-u.ac.jp/homecoming/>

○【ご報告】学生クラブ活動等ご報告

・準硬式野球部

この度、5月から開幕していた関西地区大学準硬式野球トーナメント大会においてベスト4の成績をおさめ、8月27日開幕の【第50回全日本大学選抜準硬式野球大会(清瀬杯)】への出場権を獲得しました。

これは、創部以来の快挙とのこと。初戦相手校は、同じ国立大学法人である「熊本大学」に決まりました。

(試合会場:札幌市 麻生球場 9:00開始)

是非とも皆様のご支援のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

詳しくは、本学HPをご覧ください。 <http://www.wakayama-u.ac.jp/news/2018071100022/>

○【ご報告】経済学部講演会「外国人労働者の職場適応に関する課題 ―ドイツ、エストニア、リトアニアのケース・スタディから学ぶ―」を開催いたしました

地域・国際連携オフィスでは、平成30年7月19日(木)に経済学部講演会を開催いたしました。

詳細は、本学HPをご覧ください。 <http://www.wakayama-u.ac.jp/eco/cpo/news/2018071700079/>

○【ご報告】経済研究所講演会『中国における職業病防治法の改正』を開催いたしました

経済総合研究所では、平成30年7月25日(火)に講演会を開催いたしました。

詳細は、本学HPをご覧ください。 <http://www.wakayama-u.ac.jp/eco/souken/news/2018071700093/>

○【お知らせ】平成31年度和歌山大学経済学部社会人特別入試について

経済学部では、社会人特別入試の募集要項が出来上がりましたのでご報告いたします。

募集人員は3名、出願期間は平成30年11月1日(木)から11月6日(火)までです。

詳しくは、本学HPをご覧ください。 <http://www.wakayama-u.ac.jp/eco/news/2018071300095/>

○【お礼】平成30年度和歌山大学説明会/オープンキャンパスについて

和歌山大学では、平成30年7月15日(日)にオープンキャンパスを開催いたしました。今年は猛暑の中、3,600人を超える来場者がありました。ありがとうございました。熱中症にかかる方が出なかったことが何よりも幸いでした。

○【お知らせ】夏季一斉休業について

今年も和歌山大学では、下記期間におきまして、夏季一斉休業を実施することとなりました。皆様にはご不便をおかけいたしますがご協力とご理解をお願いいたします。

一斉休業期間:平成30年8月13日(月)～8月17日(金)

平成三十年八月一日発行
八月号
柑 蘆 同 人 誌

芦火

第654号

2018. 8



今月の表紙

木槿
・花木槿

平成30年8月1日 柑芦同人誌 芦 火 654号

には姫路まで来ていただきました。御礼申し上げます。英夫さんの「多事彩彩」への感懐有難くございました。28年の水害は夏休みに入ってから帰郷された方は「存じない」と思っています。今思い出してもあのときの救援活動に星林同期生が大勢集まったか不思議です。大塚骨頭壊死の治療へ人工骨髄移植手術日予定通り抜糸と、純一さんにいただいた瓜の苗の成長が気になっていたが「なんともなしがたし」と、送っていたのにすみませんと、編集者より、抜糸とのご連絡でおそらく手術はうまくいったと思います。しばらくはリハビリが必要でしょうが次第に快方へ向かうことを祈っています。

★純一 当地は高台で豪雨被害なし。周辺の市町村は被害あり。

★みきを 断続的雨。強いときは70mm。時間より多かったです。

★としを 連日の豪雨にうんざりしている。

★六甲 地震は6弱の直下型でした。年始の予測では大阪北部は0.07%だった。地震予知は無いほうがベターと思う。何時地震が起きるかもしれないので、編集者より、皆さんより特に被害のコメントがなかったので、被害はなかったと推測します。いつでも用意は必要ですね

★安男 7月号切捨て御免で、「球春と広辞苑」の句で季語についての指摘あり。俳人協会では「球春」は季語と認めないというところを聞いたことあり。一方で「春」「秋」などの言葉が使われていれば季語と認める俳人もいる。指摘はその通りだが敢て出句したが俳人協会が「球春」を季語と認めて欲しい願望がある。編集者より、私も調べてみました。が「球春」は角川俳句大歳詩記にも記載なし。通常は春の季語と思うのが普通でしょうか。「球春」で名句が出れば、草田男の「万緑のように認められるのでしょうか。それでも切捨てに疑問を投稿されることは皆が考える機会として今後も期待したいと思えます。

閑話休題

○東京支部広報 「芦火」7月号表紙と清記を終えてのページをそのまま掲載いたがいた。○柑芦誌へ「芦火会」よりの投稿 同人2句の投稿をいただき、昨年同様柑芦誌に掲載していただく様いたします。様式は前月報告の形式です。柑芦誌には神戸吟行について穂心さんの記事が出ます。この秋に発行される柑芦誌を参照下さい。

○温州さんよりぶらぐり会5月の報告を原文のまま掲載しました。大変な努力に感謝です。

○穂心さんより「ぶらぐり会」会場へ南の方から預かったという芦火433号から444号までが届けられたという事で、和歌山大学図書館で保管できないか穂心さんにお骨折り頂くことをお願いしました。現在図書館には539号以降が保管管理されている。それ以前のものをどうするか考えてみたい。

○暑中お見舞い申し上げる季節です。最近の日本列島では経費対策は最も大事だが、災害に会われた方、ボランティアで活躍している方がいる。まずもって自分の身は自分で権力安全に努めなければという思いです。ご自愛のほどくれぐれもよろしくお願い申し上げます。

創刊、昭和38年、600号以上を発行。会員約20名が毎月投句、選句。上手下手を問わず俳句を楽しんでいます。紙と鉛筆と歳時記で、花鳥風月を楽しんでみてはいかがですか？

発行人： 山下勝様 経済学部 14期 yama723@nifty.com

「芦火」連絡先：〒862-0954 熊本市中央区神水 1-7-2-301 TEL :096-382-4767

■わかやま関連 Information

① 2018おもしろ科学まつり — 和歌山大会の出展募集

『青少年のための科学の祭典 — 2018おもしろ科学まつり — 和歌山大会』を開催するにあたり、青少年のための科学の祭典・和歌山大会実行委員会は、出展にご協力いただける出展者様を広く募集しております。

詳細は、青少年のための科学の祭典・和歌山大会実行委員会のウェブサイトをご覧ください。

<https://www.kagaku-wakayama.com/omoshiro2018/>

② 「粘菌」展 1 時間に数ミリ移動「生きた粘菌」や南方熊楠作の標本も

和歌山県立自然博物館(海南市船尾、TEL 073-483-1777)で、特別展「小さな粘菌の大きなワンダーランド」が始まった。和歌山県出身で粘菌の研究で知られる生物学者・南方熊楠は、日本産粘菌のリストを発表したほか「アオウツボホコリ」や「ミナカタホコリ」などを発見し多数の標本を残した。

同展では、熊楠が自宅の柿の木で採集したミナカタホコリなどの標本や研究功績資料を展示する。

※詳細はこちら <https://wakayama.keizai.biz/headline/1162/>

③ デビュー1周年記念 貸切「パンダくろしお」で行く白浜への旅！

『「パンダくろしお Smile アドベンチャートレイン」のデビュー1周年を記念し、「海」「パンダ」「温泉」を満喫できる夏のプランを企画しました。「ナイトアドベンチャー送迎コース」や「貸切バス・半日観光ツアー」もオプションで用意されています。是非この機会に、スマイルあふれる夏の思い出づくりに、鉄道の旅を楽しんでみてはいかがでしょうか。

●旅行日 平成30年8月5日(日)～6日(月)

●旅行代金等 下記URLのパンフレットをご覧ください

http://www.westjr.co.jp/press/article/items/180616_00_panda.pdf

●予約方法 日本旅行ホームページで予約可。(<http://www.nta.co.jp/akafu/west/>)

④ 社会人向け:地域の観光産業を担う中核人材育成講座を開講(観光庁)

観光庁は「地域の観光産業を担う中核人材育成講座」を全国 10 大学で開講する。主な対象は、宿泊施設や旅行業など、観光業に従事する社会人。

開講するのは青森大学、明海大学、東洋大学、横浜商科大学、信州大学、神戸山手大学、鹿児島大学、小樽商科大学、和歌山大学、大分大学。募集人員は各大学 20 名程度。小樽商科大学と和歌山大学、大分大学は観光庁の支援が終了しており、各大学主体で実施する予定だ。

講座内容は、経営戦略や財務会計、マーケティング、ブランディングなどが中心。業界有識者や大学講師陣による講義やディスカッションも交えて実施される。受講料は原則無料だが、会場までの交通費や宿泊費、飲食費などは受講者負担。講座のテーマや開講日、申し込みは各大学によって異なる。

※詳細はこちら <http://www.mlit.go.jp/kankocho/shisaku/jinzai/ikusei-kouza.html>

⑤ 「市駅 “グリーングリーン” プロジェクト 2018」

「市駅 “グリーングリーン” プロジェクト」は、2015 年から観光学部永瀬研究室と和歌山市駅前の商店街・自治会が中心となって取り組む、公共空間に賑わいと潤いを生み出すまちづくりの社会実験です。

4 年目となる今年は、「市駅とまちと紀の川の可能性を体感する社会実験」として実施します。

期間: 2018 年 9 月 1 日(土)～9 月 9 日(日)

会場: 紀の川第5緑地「シエキノカワひろば」ほか

※詳細はこちら <http://www.wakayama-u.ac.jp/tourism/news/2018080300048/>

⑥ 投票率アップへ 学生が提案

和歌山大学と和歌山県選挙管理委員会は7月、選挙啓発ワークショップを和歌山市栄谷の和大大で開いた。選挙制度を学び、啓発方法を考える3回講座で、最終回の27日は、学生が考えた案を発表した。同委員会は「すぐ取りかかれそうなものや思いがけない視点など、大学生目線のアイデアが生まれた。これらを生かし、投票率アップにつなげられれば」と話している。

※詳細はこちら http://www.nwn.jp/news/180804_tohyoritu/

OBOG 活動のお知らせ

■ 29期、平松真由美さん、オンステージ@武蔵野合唱団第51回定期演奏会に

～山田和樹 武蔵野合唱団指揮&横浜シフォニエッタ創立20周年記念演奏会～



日 時:2018年9月15日(土)開場 15:30、開演 16:00

会 場:サントリーホール 大ホール

指 揮:山田和樹 管弦楽:横浜シフォニエッタ

独 唱:ソプラノ 田崎尚美、澤江衣里 アルト 清水華澄、平山莉奈

テノール 望月哲也、櫻田 亮

バリトン 青山 貴、狩野賢一 合 唱:武蔵野合唱団

後 援:在日スイス大使館 武蔵野市

詳しくはこちら <http://musashino-chorus.com/>

■ マスターズ陸上をはじめて10周年、還暦でも走ります。水島鉄男(29期)さん

55歳で100m12秒36をマークし「マスターズ陸上」で日本一にもなった水島鉄男さんが、今年もマスターズ陸上に参加します。8月に還暦を迎え60歳となる節目の年のチャレンジに大いに期待しましょう。

また、日本マスターズ陸上の創設者であり、日本マスターズ陸上競技連合の鴻池会長も、和歌山大学の卒業生であり、御年80歳でありながら、現役バリバリの選手です。

みなさまの応援よろしくお願ひいたします。

- 9月 5～14日 世界マスターズ陸上 in スペイン マラガ

<https://malaga2018.com/GO/>

- 9月 22～24日 全日本マスターズ陸上 in 鳥取

<http://t-master.net/>

鳥取には私も関係者として参加しています。

- 10月 27～28日 国際ゴールドマスターズ陸上 in 奈良

http://www.igm2018nara.jp/pdf/Entrybook_TrackandField.pdf



平成 30 年度関西地区大学準硬式野球トーナメント大会報告ならびに
第 50 回全日本大学選抜準硬式野球大会(清瀬杯) 出場へのご協力のお願ひ

和歌山大学準硬式野球部顧問 古井克憲 (教育学部准教授)

和歌山大学準硬式野球部 部員一同

向暑の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は和歌山大学準硬式野球部にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、私たち和歌山大学準硬式野球部は 5 月 3 日(木) から開幕いたしました平成 30 年度関西地区大学準硬式野球トーナメント大会においてベスト 4 の成績を収め、8 月 27 日(月)から開幕いたします第 50 回全日本大学選抜準硬式野球大会(清瀬杯) への出場権を獲得いたしました。全日本大学選抜準硬式野球大会への出場は創部以来初の快挙であります。これは和歌山大学はじめ和歌山大学準硬式野球部を日頃応援してくださる皆様のお陰と感謝しております。

ところで、北海道で開催される同大会出場に際して多額の資金が必要なことが判明してまいりました。部員、同窓会と資金確保に努力しておりますが、十分な状況ではございません。

誠に厚かましいお願ひとは存じますが、野球部のさらなる発展そして野球部員達の文化的向上に資する全日本大学選抜準硬式野球大会に向けた活動へのお力添えを賜わりたく、「寄付金のお願ひ」をさせていただきたいと思ひます。

寄付金については、一口 5 千円でお願ひできればありがたいですが、志を賜れば幸甚に存じます。

銀行振込みの場合は、お手数をおかけいたしますが、下記口座に 8 月 24 日(金)までにお振込みの上、①～④について以下の宛先にメールまたは郵送にてお知らせ下さい。メールの場合、件名に「準硬式野球部寄付」とご記入ください。ご多端の折柄恐縮ですが何卒ご支援ご協力賜りますようお願い申し上げます。

振込先：紀陽銀行 延時支店 普通 434259 準硬式野球部 (ジュンコウシキヤキュウブ)
--

①ご氏名(ふりがな) ②ご連絡先(住所・電話番号) ③ご所属 ④ご寄付いただいた金額

〒640-8510 和歌山市栄谷 930 番地 和歌山大学教育学部 古井克憲研究室

電話：073-457-7391

E-mail アドレス：kfurui@center.wakayama-u.ac.jp

文・編 47 期 中川貴照

柑芦会東京支部フェイスブック <https://www.facebook.com/groups/325065827574556/>

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 7-17-14 新宿シティ源ビル 5F 柑芦会東京支部

柑芦会専用電話:03-3366-3680 平日 9:00～18:00 土曜日:9:00～15:00

共用 FAX:03-3369-3469 柑芦会東京支部宛と記載下さい。 e-mail: tokyo@kourokai.com